

# センターだより

令和6年6月15日 No. 80  
東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明  
指導主任 松 澤 朗  
事 務 石 橋 牧 子

## 「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」

令和6年度がスタートしました。

今年、「パリオリンピック・パラリンピック」が開催される予定です。開催が危ぶまれた「東京オリンピック・パラリンピック」からあつという間に3年間に過ぎました。

少年センターの活動も「新型コロナウイルス感染症」の影響を受けることなく、予定されている各行事を無事実施することができるようです。

指導員の方々には、事故による怪我や熱中症などによる病気も含め、班メンバーの方々の健康などを考慮し、慎重に取り組んでいただけるようお願いいたします。

今年度の活動におきましては、「安心・安全な毎日の暮らし」を願い、この地域に暮らす子どもたちには、健康で、明るく、元気に逞しく育ってほしいです。そのためにも、子どもたちにとって、「家庭」「学校」「地域」が温かみのある居場所でありたいです。

「早く帰りたいと思える、温かみのある家族と暮らせる家庭」  
「楽しいと思って、安心して通い続けられる安全で夢のある学校」  
「いつまでも、長く住み続けていたいと愛着がもてる地域」

子どもたちが心穏やかに、楽しく、安心して過ごすことができるよう、「家庭」「学校」「地域」で暮らす者たちが、それぞれの立場で知恵を出し合い、工夫しながら子どもたちと接していきたいです。そんな毎日の暮らしの中で大切にしたいこと……。

それは「家庭・学校・地域が協力し連携し合う」ことです。

言い換えれば、「仲良く、協力する」ことです。当たり前のことかもしれませんが、この「当たり前のこと」が日常の生活の中で忘れ去られてしまうことも、当たり前のように起きてしまっています。

子どもたちを取り巻く環境を整えるため、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会、警察署、その他多くの関係機関がそれぞれの立場で、熱心に取り組んでいただいています。

少年センターとしても事業の一つとして、「少年指導員」として委嘱をさせていただいた地域の方による「声かけ活動」を行っています。

お住いの近くの地域を中心に回っていただいている指導員の皆様方のおかげで、子どもたちの安全は守られ、安心して暮らすことができています。子どもたちの安全と共に、指導員の皆様方におかれましても、事故やけがに十分注意して無理のない中で声かけ活動を行っていただきますようお願いいたします。

少年センターとしては、指導員の方々の「地域の子どもたちを愛する思い」などを大切にし、そうした活動を広く伝え、多くの方々に知っていただくようにしていきたいです。

## 「高校生（瑞浪高校）（多治見西高校）による啓発活動」

4月22日午後3時20分から、バロー瑞浪中央店で「青少年地域で守ろう 育てよう」という願いをこめて、東濃西部少年センター作成の「モバイルクリーナー」をお店利用者の方々に配布しました。

配布してくれたのは、瑞浪高等学校の生徒のみなさんです。生徒の皆さんと先生が笑顔で声をかけると、多くの方々が嬉しそうに受け取って頂け、とても和やかな雰囲気でした。瑞浪高校の生徒さんは、今年さらに3回の啓発活動を予定してみえます。



5月21日から4日間にわたり、多治見西高等学校3年生の生徒の皆さんと先生方が「春の交通安全運動」を兼ね、学校周辺の歩道橋・交差点付近、小泉駅などで挨拶運動並びに清掃を実施されました。

多治見西高等学校では例年、計画的にこうした啓発活動を熱心に実施してみえます。今年度も年に4回（16日間）の予定で実施されるようです。

今回も3年生の生徒さんが爽やかな笑顔で挨拶を交わしていました。



## 「岐阜県少年補導部会（WEB会議）」より

5月10日に「岐阜県青少年育成県民会」主催の「少年補導部会」が行われました。今回の会議もWEB会議で行われ、参加者は主に岐阜県内の少年センターの職員で18名の者が約1時間30分に渡って、意見交流などを行いました。

意見交流の際、岐阜県内の各センターの共通する意見としては、昨年に引き続き、「巡回活動をしているが、子ども達と出会うことが減少している。」というものでした。

声かけ活動においては、回られる時間帯や場所においても差がありますが、そうした傾向はみられます。多治見署の方のお話では、「指導員の方々が黄色いベストと帽子を着用して街を歩いてくださることが、不審者発生の抑止力になります。」ということなので、引き続き「声かけ活動」をよろしくお願い致します。

WEB会議の後半には、「青少年を取り巻く環境について」と題して、岐阜県警察本部生活安全部少年課の方からの講話を聴きました。その際、講師の方からは、少年非行は近年、減少してきている。一方、「薬物乱用少年」が増加し、まん延及び低年齢化してきている。また、「児童虐待は、増加傾向にある。」という心配なお話でした。

指導員の方々をはじめとして、「地域の人ができること」として、以下の3点のお話がありました。

- ① 子どもたちを見守る。挨拶などを交わし、子ども達の存在を認める。
- ② 子どもたちを地元行事に参加させる機会をつくる。
- ③ 地域の現状を地域の大人に知らせ、協力して子どもたちを見守る。

## 「令和6年度 行事活動の変更について」

先月行われた「委嘱式」の挨拶の際にもお伝えしましたが、三市の地区長会で検討の上、昨年度まで10月に行っていた活動の「三地区合同研修会」を今年度から実施致しません。開催日が土曜日ということや各地域行事並びに学校行事などと重なることが多く、参加者が極めて少ないためです。

## 「クリアファイルの配布について（3市の小・中・高校）」

毎年6月に「東濃西部少年センター」で作っている「クリアファイル」を3市の小学校・中学校・高等学校にお届けしています。各学校の全児童並びに生徒の皆さんと教職員の方に利用して頂く物です。クリアファイルには、東濃西部少年センターへの連絡先が記載されているので、見られた方やその保護者の方から相談や連絡を頂くこともあります。

## 「ホームページの紹介」

「東濃西部少年センター」の活動状況のお知らせがホームページに掲載されています。「東濃西部広域行政事務組合」のサイトに入っていますので、よろしければご覧ください。ホームページを見られる際には、「東濃西部少年センター」で検索してみてください。

## 「東濃西部少年センターへの相談・あれこれ」

岐阜県内や多治見・瑞浪・土岐の中には、いくつもの相談窓口があります。それぞれ特徴がありますが、東濃西部少年センターにおいては、「電話」「メール」「来所」「訪問」など、様々な形態で活用していただいています。

また、中学校卒業後の16歳以降を対象とした相談窓口が少ない面から、「東濃西部少年センターが受け皿になってもらえたら。」という声を多く伺います。東濃西部少年センターの対象年齢は「二十歳未満まで」となっていますのでご利用いただければ幸いです。

少年センターでは、相談者の方の話をじっくり聞いた上で、相談者の力になれたらと思いい対応しています。しかし、容易く解決するような問題ではないこともあり、できるだけ「相談者の身近で、親身になって寄り添っていただけるはずの家族や先生に苦しい胸の内を相談すること」を勧め、そのための橋渡しとなれるように努めています。

東濃西部少年センターでは、「悩みごと相談」だけではなく、私たちが暮らす街の様子などから、「明るい話題」もお知らせ頂くよう、呼びかけてきました。

私たちの街に暮らす子供たちの笑顔、健やかな成長のために、見守ってまいります。

### 「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」

☆「楽しい話題」「伝えたい情報」「ちょっとした悩みごと」

（身近な出来事など、連絡・相談ください）

「東濃西部少年センター」

0120-873-246（携帯からもOK）

[anshin55@crux.ocn.ne.jp](mailto:anshin55@crux.ocn.ne.jp)（24時間受付）

相談時刻・メール返信は、10時～17時（日・月休み）

## 「令和6年度 少年指導員委嘱式」

令和6年5月12日（日）「セラトピア土岐」において、令和6年度の東濃西部少年センター「少年指導員委嘱式」を開催致しました。



今年度は、土岐市長の加藤淳司様、土岐市教育委員会教育長の長谷川広和様、多治見警察署生活安全課長の鈴木健二様をご来賓にお招きしての開催となりました。

指導員の方々には、お忙しい中、多数ご出席していただき感謝しています。

本年度、三市の地区長をお願いします  
「小倉昌春様」「後藤東様」「鬼頭博英様」  
よろしくお願い致します。地区別会議において「班長」をお願いした方には一年間お世話いただきますが、よろしくお願い致します。

また、各地区指導部役員の方々並びに3市担当者の方々には、会場準備並びに後片付けなど、お手伝いいただき、ありがとうございました。

多治見警察署の鈴木健二課長様のお話「少年非行の概況」では、「少年非行については、三市共に減少しており、とても落ち着いてきている」というお話がありました。しかし、岐阜県内では、青少年の間において薬物使用が増えてきており心配されているとのことです。



青少年の健やかな成長を願い、落ち着いた街づくりにおいて、皆さんに日々行っている「声かけ活動」は、とても大きな影響を与えていただいています。「何気ない一声」「笑顔のあいさつ」が、温かな街づくりにつながっているのでもよろしくお願い致します。

尚、委嘱式前に長年指導員として活動していただいている方々の「表彰式」が行われました。また、昨年度を退任された3年並びに5年以上及び15年以上の方には、事前に表彰状を贈らせていただきました。以下に表彰された方々の紹介をさせていただきます。

### ※敬称略

#### ☆所長表彰状（指導員3年）

【多治見地区】鈴木 謙 玉置 真一 小栗 妙子 岩井 明代

【土岐地区】水野 久美 小栗 博之 西村 泰宏

#### ☆所長感謝状（指導員3年以上5年未満で退任）

【多治見地区】宮田 賢樹 林 美江 棚橋 茂

【瑞浪地区】松井 廉

【土岐地区】林 孝正 佐長谷幸子 林 美智子

#### ☆管理者表彰状（指導員5年）

【多治見地区】長瀬あつ子

#### ☆管理者感謝状（指導員5年以上15年未満で退任）

【多治見地区】知原 重樹

【瑞浪地区】横井美佐子 丸山 和弘

#### ☆特別感謝状（指導員15年以上で退任）

【瑞浪地区】三宅 滋郎